

2012年 関西夏季新人大会レポート

2012年8月21日、琵琶湖（滋賀県近江八幡市佐波江町 かんとりーは一ば一前）で、学生連盟関西支部主催の関西夏季新人大会が開催されました。70名を超えるエントリーがあり、最高気温34度の中、甲子園の戦いにも負けず劣らずの熱戦が繰り広げられました。風は一日を通して微・中風で、4月にウインドサーフィンを始めたばかりの1年生がこれまでの練習の成果を存分に発揮できる、絶好のコンディションになりました。

レースは午前2本、午後1本の合計3レースが行われました。メンズクラスでは、第1、2レース終了時点で7月の七夕カップで優勝した大阪大学の島本（3P）と、同大会3位の関西学院大学の前田（3P）が同率一位で並び、それに平澤・8P（大阪）、小堀・10P（滋賀県立）、森・10P（滋賀県立）、川崎・11P（関西学院）と続きました。レディースクラスでは、1位から順に、岸田・56P（神戸）、東・58P（同志社）、安永・60P（滋賀県立）、石場・61P（滋賀県立）と続き、午後のレースも気が抜けない状況になりました。

午後は、風が安定しない中ではあったものの第3レースが開始されました。下有利のスタートラインを、最もアウター船に近いところから切った森が第一マークを断トツ一位で回航、それに小堀が続き、二人はそのままの順位を守りきってゴール。第一マーク回航時点で島本、前田は9,10位と出遅れたものの、その後順位を上げ、前田は3位、島本が5位でフィニッシュしました。レディースは岸田が午後も安定した走りを見せ、15位でフィニッシュ。それに滋賀県立大学の石場（18位）、安永（23位）と続き、それまで4位だった石場が2位に浮上しました。

続いて、1レース分のポイントカットで順位的大幅な変動がありうる第4レース目がスタートしました。しかし、スタート後に雷雲が接近してきたためコース短縮を行うことになりましたが、一部の選手の勘違いが原因で8割近くの選手がハーバーバックしてしまい、このレースは中止を余儀なくされました。運営側としても、レースの続行は雷雲の接近もあるため危険と判断し、全3レースを以てレース終了となりました。

3レースを終え、メンズクラスは前田（関西学院）が優勝、レディースクラスは岸田（神戸）が優勝という結果でした。団体の部では、関西学院大学が優勝し、関西学院は個人・団体ともに優勝という快挙を成し遂げました。

閉会式では、入賞者は賞状・トロフィーを受け取り、すがすがしい笑顔を見せていました。今年は1年生の人数が例年になく多く、表彰台に登るのは大変難しいことです。そのため、表彰台に登ったときの感激はひとしおだったことでしょう。入賞者には惜しみない拍手が送られました。

最後に、本大会を開催するにあたり、協賛していただいた **Bic Sports** 様、そして大会の趣旨をご理解いただき、大会会場の提供から施設利用の面などでバックアップしていただきましたかんとりーは一ば一様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

学連関西支部長 佐藤 駿